

Q. 補助金等の見直しは

A. 関係者との調整を進める



熊沢直紀議員

Q

平成22年度に、行政運営に関する有識者懇談会が3回にわたり開催され、補助金の見直しを検討し、事業評価が出された。

事業評価の内容は、補助金対象76項目のうち、継続41件、拡充ゼロ、廃止8件、見直し27件であった。
廃止8件の内容は消防団分団活動交付金、家具転倒防止器具取り付け費補助金、国保宿泊補助金等である。

A

また、見直しは27件であるが、平成23年度中に見直し、平成24年度の予算には、見直した予算編成をしようと思うが、どの様に見直すのか。見直しに「その他」とあるがどのような事なのか、見直した後どれくらいの補助金の削減を想定されているのか。

補助金の見直しについては、有識者懇談会において、76事業について評価を行い、継続41件、廃止8件、見直し27件の評価結果を得た。この評価を踏まえ、23年度当初予算においては、「廃止」の評価を受けた事業をすべて廃止した。また、「見直し」の評価を受けた事業については、関係者との調整を行い1130万2千円の削減効果を得た。
23年度予算に反映され



有識者懇談会からの提言書

ていない見直し事業については、関係者との調整を進め、24年度予算編成に反映させていきたいと考えている。
補助金等の見直しは、関係者の理解と協力が不可欠であり、今後とも粘り強く説明を続けていく。

こうしたことから、今の段階で事業費の最終的な削減額を見込むことは困難である。